

学校教育調査 A の概要

1 調査目的

「岩手県学校教育調査」は、岩手県の学校教育に関する状況について、さまざまな立場の方の意識の実態を定期的に調査し、現状の把握及び今後の教育振興等に資するための基礎資料を得ようとするものであり、平成13年度から平成16年度までの4年間の長期計画で行っている。

本年度実施した学校教育調査 A は、平成14年度に実施した調査 A の内容を元に作成した質問項目で実施するもので、調査対象となる児童生徒の学習面・生活面全般にわたる実態調査及び意識調査である。

特に、本報告書では、今回実施した学校教育調査 A の結果とともに、前回（平成14年度）実施した学校教育調査 A との経年比較を行い、児童生徒の実態や意識の変容の実態を把握することを目的としている。

2 調査協力依頼校

(1) 調査協力依頼校は、県内12の教育事務所管内に設置されている38の小・中学校、12の高等学校、16の盲・聾・養護学校中学部とした。

(2) 小・中学校の調査協力依頼校は、12教育事務所を単位とし、学校規模や地域の特性等に配慮しながら児童生徒の5%程度を対象とした。高等学校の調査協力依頼校は、12教育事務所ごとにその管内に位置する専門高校等を含む一校を抽出した。また、盲・聾・養護学校の調査協力依頼校は、対象数が少ないことから、県内すべての盲・聾・養護学校とした。

3 調査対象

校 種	学校数	児童生徒数	保護者数	学級担任	合 計
小 学 校	22	714 (5年)	701 (5年)	155	1,570
中 学 校	16	741 (2年)	684 (2年)	116	1,541
高 等 学 校	12	510 (2年1学級)	465 (2年1学級)	308	1,283
盲聾養護学校 (中学部)	16	201	258	169	628
合 計	66校	2,166名	2,108名	748名	5,022名

4 調査内容

調査 A は、児童生徒の学習面・生活面全般にわたる実態調査及び意識調査である。具体的内容は別紙「質問紙調査票」のとおりである。

5 調査方法

(1) 調査は、小・中学校にあっては、教育事務所、市町村教育委員会を通じて依頼することとし、県立学校にあっては、直接依頼するものとする。

なお、調査結果の回収も同様の方法とする。

(2) 調査用紙は予備分も配付するが、不足の場合は増刷して使用することとする。

(3) 回答は、個人に配付した回答用のマークシート用紙に記入することとする。

(4) 保護者への調査票の配付及びその回収方法は、各学校に一任することとする。

6 調査期間

平成17年9月1日（木）～9月28日（水）までの4週間

学校教育調査 A 質問項目一覧

		小学校	中学校	高等学校	盲・聾・養護学校
1	学校の楽しさ	児童	生徒	生徒	生徒
2	学習内容の理解	児童	生徒	生徒	
3	勉強がわからないとき	児童 ・ 保 ・ 担	生徒 ・ 保 ・ 担	生徒 担	
4	授業中の様子 (先生の話聞く、友だちをからかう等)	児童 担	生徒 担	生徒 担	生徒 担 * 答えが分かってうれしい等
5	教科外学習 (道徳、運動会、学習発表会、総合的な学習の時間等)	児童 担	生徒 担	生徒 担	生徒 担 * 他校との交流 * 自立活動等
6	家庭学習 (内容、時間、必要性等)	児童 ・ 保 ・ 担	生徒 ・ 保 ・ 担	生徒 ・ 保 ・ 担	
7	学習塾	児童 ・ 保	生徒 ・ 保		
8	入学理由			生徒	
9	卒業後の進路			生徒 ・ 保	
10	学級の友だち	児童	生徒	生徒	生徒
11	自分の親	児童	生徒	生徒	生徒
12	学級担任	児童 担	生徒 担	生徒 担	生徒 担
13	自分(子どもの長所等)	児童 ・ 保 ・ 担	生徒 ・ 保 ・ 担	生徒 ・ 保 ・ 担	生徒 ・ 保 ・ 担
14	努力の経験	児童	生徒	生徒	
15	地域への意識	児童	生徒	生徒	生徒
16	学校の役割	保 ・ 担	保 ・ 担	保 ・ 担	保 ・ 担
17	学校の教育活動の満足度	保	保	保	保
18	学校の教育内容への関心			保	保
19	親同士の会話 ・ 勉強 ・ 友だち ・ 先生	保	保 * 部活動 * 進路	保 * 部活動 * 進路	保 * 交流学习 * 相談機関
20	子どもとの会話	保	保	保	保
21	子どもの交友関係	保	保	保	保
22	学校への相談	保	保	保	保
23	保護者と担任との連絡				保 ・ 担
24	P T A 活動	保 ・ 担	保 ・ 担		保 ・ 担

* 、 . . . は、児童生徒・保護者・担任それぞれの質問紙の質問項目番号。

調査結果の概要・児童生徒

1 学校の楽しさ

児童生徒 1 学校に来るのが楽しいですか
⇒ 「楽しい」は、小学生・中学生・盲聾養生徒の約8割、
高校生は約7割
小・中・高・盲聾養

2 学習内容の理解

児童生徒 2 授業中に勉強したことがどれだけわかりますか
⇒ 理解度は、小学生9割、中学生7割、高校生6割
小・中・高

3 学習内容がわからないとき

児童生徒 3 学校での勉強がわからないとき、どうすることが多いですか
⇒ 小学生は「友だち」と「親」、中学生・高校生は「友だち」に教えてもらう。
一方、中学生・高校生の約2割が「そのままにする」
小・中・高

4 授業中に、次のようなことがどれだけありますか

児童生徒 4 - 先生の話をしっかり聞くこと
⇒ 小学生・中学生・高校生とも約9割が肯定的回答
小・中・高

児童生徒 4 - 先生の説明がわからないこと
⇒ 小学生の約5割、中学生の約8割、高校生の9割が「わからない
ことがある」と回答
小・中・高

児童生徒 4 - 授業の進み方が早いと思うこと
⇒ 中学生の約5割、高校生の7割が「早いと思うことがある」
中・高

児童生徒 4 - 先生にほめられたこと
⇒ 肯定的な回答は、小学生・盲聾養生徒約7割、中学生4割、
高校生2割
小・中・高・盲聾養

児童生徒 4 - 友だちにからかわれたこと
⇒ 小学生・中学生・高校生の6割弱が「ある」
小・中・高・盲聾養

児童生徒 4 - 私語を注意されたこと
⇒ 「ある」、小学生・中学生約5割、高校生4割程度、
「あまりない」が増加傾向
小・中・高

児童生徒 4 - 答えがわかってうれしかったこと
⇒ 「ある」が7割を超える
盲聾養

児童生徒 4 - 自分で頑張って、できるようになったこと
⇒ 8割が「ある」と回答
盲聾養

5 次の時間の勉強や行事について、どのように思いますか

児童生徒	5 - 道徳	⇒ 中学生は「好き」が約半数、小学生は7割が「好き」	小・中
児童生徒	5 - 学活（学級活動）・LHR	⇒ 小学生・中学生「好き」が7割に増加、高校生は4割	小・中・高
児童生徒	5 - 運動会・体育祭	⇒ 小学生、盲聾養生徒の6割超が「好き」、 中学生・高校生は約5割	小・中・高・盲聾養
児童生徒	5 - 学習発表会・文化祭・合唱コンクール	⇒ 約6～7割が「好き」と回答	小・中・高・盲聾養
児童生徒	5 - 総合的な学習の時間	⇒ 「好き」は、小学生の約8割、中学生の約6割	小・中
児童生徒	5 - クラブ活動・部活動	⇒ 中学生（約6割）・高校生（約5割）ともに「好き」が増加	中・高・盲聾養
児童生徒	5 - 他の学校との交流	⇒ 「好き」の割合が約6割に増加	盲聾養

6 家庭学習について

児童生徒	6 - 家庭学習の内容	⇒ 中学生の8割は「自分」で決める、小学生は「自分」「先生」、 高校生は「先生」が4割超	小・中・高
児童生徒	6 - 家庭学習の時間	⇒ 小学校：8割が30分以上の家庭学習 中学校：1時間以上の割合が減少 高等学校：1時間30分以上の割合が増加	小・中・高
【参考】児童生徒	家庭学習の時間	* 前出の「家庭学習の時間」のグラフを、「30分以上」「30分未満」の選択肢に まとめグラフ化したもの ⇒ 校種が進むにつれて「30分以上」の割合が減少	小・中・高

7 塾について

児童生徒	7	どんな理由で塾に通っていますか ⇒ 「自分が勉強したいから」が2割を下回る	小・中
------	---	--	-----

8 今、通っている高校や進路について

児童生徒 8 - 今の高校を選んだ理由は何ですか
⇒ 「中学校の成績」「通学に便利」が上位、「やりたい部活動がある」が大きな伸び

高

児童生徒 8 - 高校を卒業してからの進路をどのように考えていますか
⇒ 「大学・短期大学へ進学」が約4割に大きく増加

高

9 学級の友だちについて

児童生徒 9 学級にどんな友だちがいますか（複数回答）

⇒ どの校種も「いっしょに遊ぶ友だち」が7～8割を占める

小・中・高・盲聾養

10 自分の親について

児童生徒 10 自分の親のどんなところが好きですか（複数回答）

⇒ 小学生、盲聾養生徒は、「やさしいところ」、
中学生、高校生は、「話し相手になってくれる」が上位

小・中・高・盲聾養

11 担任の先生について

児童生徒 11 担任の先生のどんなところが好きですか（複数回答）

⇒ 小学生「教え方がうまい」、中学生・高校生「話しやすい」、
盲聾養生徒「おもしろい」上位

小・中・高・盲聾養

12 自分について

児童生徒 12 自分のどんなところが好きですか（複数回答）

⇒ どの校種も「明るいところ」が上位、一方、「わからない」も
中学生・高校生に目立つ

小・中・高・盲聾養

13 目標を立ててがんばること

児童生徒 13 目標を立ててがんばろうと、努力したことがありますか

⇒ 8割以上が「ある」と回答

小・中・高

14 自分の住む地域について

児童生徒 14 自分の住んでいる地域が好きですか

⇒ 「好き」の割合、小学生・盲聾養生徒（約6割）と中学生・高校生
（約4割）に差

小・中・高・盲聾養

調査結果の概要・保護者

1 学校の教育活動において大切なもの

保護者 1 学校の教育活動において、最も大切なものは何だと考えますか
⇒ 小・中保護者「社会性・協調性」、高保護者「学力の向上」、
盲聾養保護者「社会参加できる自立心」 小・中・高・盲聾養

2 子どもが通う学校の教育活動について

保護者 2 お子さんが通っている学校の教育活動について、どのように考えますか
⇒ 「満足」は、小・盲聾養保護者の約8割、中・高保護者の6～7割
小・中・高・盲聾養

3 子どもが通う学校の学習について

保護者 3 - お子さんが、学校での勉強がわからない時、どうすることが多いですか
⇒ 「家族が教える」小保護者6割、中保護者は2割強 小・中

保護者 3 - 学校での学習内容に関心がありますか
⇒ 「強い関心」、盲聾養の6割、高は3割 高・盲聾養

4 親同士の会話で、次の内容についてどの程度話していますか

保護者 4 - 勉強のこと
⇒ 7割の保護者が「勉強」を話題に 小・中・高・盲聾養

保護者 4 - 友だち関係のこと
⇒ 小・中保護者の約9割、高・盲聾養保護者の約7割が話題に
小・中・高・盲聾養

保護者 4 - 先生のこと
⇒ 小・中・盲聾養保護者の7～8割、高保護者の6割弱が話題
小・中・高・盲聾養

保護者 4 - 部活動のこと
⇒ 中保護者の9割、高保護者の8割弱と高い関心度 中・高

保護者 4 - 進路（卒業後）のこと
⇒ 高保護者が8割を超えるが高い関心、中・盲聾養保護者は約7割
中・高・盲聾養

保護者 4 - 他校との交流学习のこと
⇒ 話題にするのは3割程度 盲聾養

保護者 4 - 相談機関や医療機関のこと
⇒ 盲聾養保護者の6割が話題 盲聾養

5 家庭学習について

保護者 5 - お子さんの家庭学習の内容
⇒ 「適当」は、小保護者の5割、中保護者は3割弱 小・中

保護者 5 - お子さんの家庭学習の時間
⇒ 保護者の6～8割程度が「不十分」 小・中・高

保護者 5 - 学校からの家庭学習に対する指示や指導
⇒ 「満足」が、小保護者6割、中保護者で4割 小・中

保護者 5 - 家庭学習の必要性
⇒ 保護者の9割以上が「家庭学習は必要」 小・中・高

6 塾について

保護者 6 学習塾は必要だと思いますか
⇒ 「必要」は、小保護者で3割弱、中保護者で約4割程度 小・中

7 子どもとの会話について

保護者 7 学校や友だちのことについて、お子さんとどの程度話をしていますか
⇒ 保護者の7～9割が子どもと会話 小・中・高・盲聾養

8 子どもとの友だち関係について

保護者 8 - お子さんの友だち関係で気になることがありますか
⇒ 「ある」が小保護者6割、中・高・盲聾養保護者約5割 小・中・高・盲聾養

保護者 8 - お子さんの友だち関係のことで、学校に相談したことがありますか
⇒ 「ある」は、小・盲聾養保護者2割程度、中保護者1割程度、高保護者は1割以下 小・中・高・盲聾養

保護者 8 - お子さんへの指導について、担任の先生とどの程度話をしていますか
⇒ 保護者の9割近くが「話し合っている」と回答 盲聾養

9 P T A活動について

保護者 9 学校のP T A活動について、どのように考えていますか
⇒ 7割以上が「参加したい」と回答 小・中・盲聾養

10 進路の希望について

保護者 10 お子さんが、高校を卒業してからの進路をどのように希望していますか
⇒ 「大学・短期大学進学」が大きく増加、生徒の希望と一致 高

11 お子さんの長所について

保護者 11 お子さんの長所はどのようなところだと思いますか（複数回答）
⇒ どの校種でも「やさしいところ」「明るいところ」が上位 小・中・高・盲聾養

調査結果の概要・学級担任

1 学校の教育活動において大切なもの

学級担任 1 学校の教育活動において、最も大切なものは何だと考えますか
⇒ 小・中担任「社会性・協調性」、高担任「学力の向上」、
盲聾養担任「社会参加できる自立心」 小・中・高・盲聾養

2 授業での理解が不十分な児童生徒への指導について

学級担任 2 授業での理解が不十分な児童生徒に対して、どのような指導をすることが多いですか
⇒ 「個別指導」は、小担任 8 割、中担任 4 割、高担任 6 割 小・中・高

3 授業中の児童生徒の様子について

学級担任 3 - 話をしっかり聞くことができない
⇒ 7～9割の担任が「みられる」と回答 小・中・高・盲聾養

学級担任 3 - 落ち着きがない
⇒ 7～8割の担任が「いる」と回答 小・中・高・盲聾養

学級担任 3 - 友だちをからかう
⇒ 6～7割の担任が「いる」と回答 小・中・高・盲聾養

学級担任 3 - 私語を注意される
⇒ 7～9割の担任が「いる」と回答 小・中・高・盲聾養

学級担任 3 - 学習内容の定着がむずかしい
⇒ 9割以上の担任が「いる」と回答 小・中・高

4 家庭学習の指導について

学級担任 4 - 家庭学習の内容
⇒ 小・高担任は「教師が指示」、中担任は「生徒自身が決める」 小・中・高

学級担任 4 - 家庭学習の時間
⇒ 指導の成果が表れている（実際の家庭学習時間に反映されている）のは小学校 小・中・高

5 次の時間の勉強や行事の指導についてどのように感じていますか

学級担任 5 - 道徳
⇒ 「指導しやすさ」、小・盲聾養担任の 4 割強、
中担任の 6 割強が否定的回答 小・中・盲聾養

学級担任 5 - 学活（学級活動）・LHR
⇒ 担任の約7～8割は「指導しやすい」 小・中・高・盲聾養

学級担任 5 - 運動会・体育祭・スポーツ大会（体育的行事）
⇒ 小・中・高担任の8割超が「指導しやすい」 小・中・高・盲聾養

学級担任 5 - 学習発表会・文化祭（学芸的行事）
⇒ 中担任の8割超が「指導しやすい」、
小・高・盲聾養担任で約6～7割 小・中・高・盲聾養

学級担任 5 - 総合的な学習の時間
⇒ 担任の約5～6割が「指導しにくい」 小・中・盲聾養

学級担任 5 - 部活動
⇒ 中・高担任の2/3は「指導しやすい」 中・高・盲聾養

学級担任 5 - 自立活動
⇒ 担任の2/3以上が「指導しやすい」 盲聾養

学級担任 5 - 交流学习
⇒ 「指導しやすさ」、肯定・否定が分かれる 盲聾養

6 保護者との話し合いの程度

学級担任 6 学校における生徒への指導について、保護者とどの程度話し合っていますか
⇒ 「話し合っている」9割から8割に減少 盲聾養

7 PTA活動について

学級担任 7 学級の保護者はPTA活動に協力的ですか
⇒ 「協力的」、小・中担任は9割、盲聾養担任は8割弱 小・中・盲聾養

8 学級の児童生徒の長所について

学級担任 8 学級の児童生徒の長所は、どんなところだと思いますか（複数回答）
⇒ どの校種でも、一番は「明るさ」 小・中・高・盲聾養

9 自分（学級担任）が児童生徒に好かれているところ

学級担任 9 児童生徒に、自分のどんなところが好かれていると思いますか（複数回答）
⇒ 小担任「注意する時は厳しく」、
中・高・盲聾養担任「話しやすさ」 小・中・高・盲聾養